

**ROTOBO**

Connecting Markets

# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)4月25日号 No.1923

## 目次

■ 2022～2023年のロシア・NIS諸国の経済(下) .....	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2023年5月号のご紹介 .....	10
■ トピックス .....	11
米国、ロシアに追加制裁／11	
ロシア、「好ましからざる団体」に千島歯舞諸島居住者連盟／11	
貝殻島コンブ漁、日ロ交渉が妥結／11	
ロシア、ドイツ外交官20人以上を追放／11	

## 2022～2023年のロシア・NIS諸国の経済(下)

### はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータ等にもとづき、2022年の経済実績を中心にNIS諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

前回は、全13カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルを扱う。

### カザフスタン： 原油高が全ての不安要因を一先ず相殺

「悲劇の1月」と称される年初の大規模抗議行動の発生、そしてナザルバエフ初代大統領とその一族の放逐に始まった2022年は、カザフスタンにとってまさに政経両面にわたる激動の年となった。内政面では6月と9月、2度の憲法改正と11月の繰り上げ大統領選挙、および2023年3月の下院選挙を経て権力の移行が完了、真の意味でトカエフ政権が発足した。大統領は前大統領に象徴される「スーパー大統領制」から「強力な議会を擁する大統領制共和国」への移行を標榜し、これに沿って行われた憲法改正ではナザルバエフ初代大統領の特権を規定する条項が全て削除され、大統領は任期が5年から7年に延長される一方、権力の独占を防止するとして再選が禁じられた。本来の2024年から繰り上げ実施した大統領選挙でトカエフ大統領は81.31%の得票を得て再選、国民の信任を証明し、3月の下院選挙では与党「アマナト」が53.9%の得票で圧勝した。ただし同党は22年初までナザルバエフ前大統領が党首であった「ヌル・オタン」をトカエフ大統領が改名した後